

技能実習生
47都道府県プロファイリング

宮崎県



中国から初の介護技能実習生 女性 2 人が宮崎で勤務

2018.7.12



介護職種での初の外国人技能実習生となる中国人女性 2 人がこのほど、中国・大連から福岡空港（福岡市）に到着した。宮崎県内の施設で今後 5 年間勤務する。日本で専門的な介護技術を学んだ上で、中国での介護水準の底上げにも役立ててもらおう。

来日した 2 人は、柴艶紅さん（41）と簡雪梅さん（47）。福岡空港の国際線ターミナルで、「入国おめでとう」などと書かれた横断幕を手にした受け入れ先の関係者らが出迎えた。花束を手渡された柴さんは「緊張しているが、日本に来ることができて感動している」と笑顔を見せた。簡さんは「日本で学んだことを中国で生かしたい」と意気込んだ。いずれも日本の介護福祉士の資格取得を目指すという。

<https://www.nishinippon.co.jp/item/o/429129/>

畜産県・宮崎を支えるベトナム人材に熱視線

2019年4月20日



ベトナム人労働者が宮崎県で急増している。都道府県別の外国人労働者数（厚労省）から計算すると**過去5年でベトナム人の増加率は15.5倍と全国1位**。同県の外国人労働者のうち、ベトナム人技能実習生は3割を超える。ブロイラーの生産・加工で全国有数の宮崎では現場の人手不足に悩む。年間2600万羽の鶏を取り扱うエビス商事（宮崎県都城市）は2009年から中国人の技能実習生を受け入れてきた

「遅刻もなく日本語を学ぶ意欲も高い」と採用担当者は話す。現在はグループ全体で日本人従業員約500人に対してベトナム人実習生が約100人おり、工場に欠かせない存在だ。滞在期間を終えて帰国した人材もアジアで展開する事業に就労できる機会を検討している。

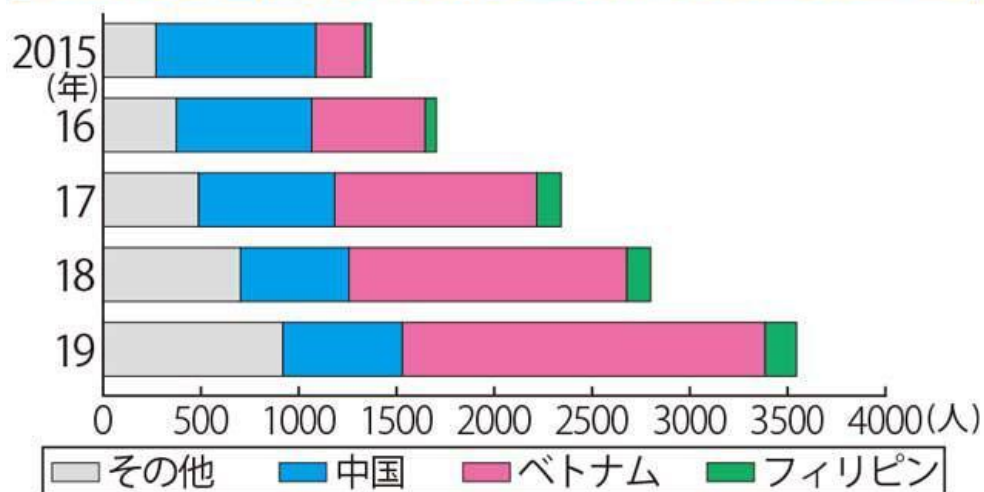
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO43867550X10C19A4N13000/>

県内外国人雇用最多 5 5 1 9 人

技能実習生割合全国最高

2021年1月30

本県の外国人技能実習生数(宮崎労働局まとめ)



宮崎労働局が29日に発表した県内の外国人雇用状況の外国人労働者数（昨年10月末時点）は、前年比9・8％増の5519人、このうち技能実習生は9・4％増の3879人となりいずれも過去最高を更新した。在留資格別では技能実習生が占める割合は0・2ポイント減の70・3％で全国最高となった。外国人労働者を雇用する事業所も10・7％増の1110カ所で過去最多で、同局は「人手不足の業種が技能実習生を活用している背景がある」と分析している。

https://www.the-miyanichi.co.jp/kennai/_50917.html